

第21回 通常総会 事業報告書

自 令和3年 4月1日
至 令和4年 3月31日

第1号議案：	令和3年度 事業報告	1
第2号議案：	〃 収支・監査報告	3
第3号議案：	令和4年度 事業計画	7
第4号議案：	〃 収支予算	9
第5号議案：	〃 役員改選	10

NPO法人

京都大原里づくり協会

【第1号議案】令和3年度事業報告

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

[はじめに] 令和3年5月29日、第20回総会が開催されました。昨年に続き総会は「コロナウイルス禍」の中で感染拡大を防ぐため、会議開催を取りやめ議決書により開催した。

1 議決書と出席者の議論によって次のように当面の活動等を取り決めた。

- ① 出席者 昨年度理事、事務局の7名 委任状50名
- ② 主な決定事項
 - ・ 事業報告、決算、事業計画、予算原案で承認
 - ・ 里づくり協会の今後について更に検討する。理事会態勢は西田誠を理事長に選出、理事は全員留任を確認。
 - ・ 「大人の原大提言」「里づくり会」「御香水支援」「水生生物調査」「惟喬親王法要」等の開催はウイルスの感染、拡大が危惧されることから慎重に検討した。
 - ・ 以上の状況から昨年度に引き続き今年度も会費は集めないこととした。
 - ・ 大原草紙は従来通り発行する。

2 NPO 運営態勢

(1) 業務担当

西田理事長	総括、大原草紙
上田副理事長	大原提言、里づくり会
高倉常務理事	環境保全、高野川水生生物調査、大原海外留学生
榎並理事	カントリーウォーク
久保満理事	登山ポスト、登山道整備
安田理事	勝手祭り関連事業、勝林院関連事業

(2) 事務局態勢

竹腰サポーター	ホームページ、総務事務、会計事務
高倉有里	生ごみ回収堆肥化作業管理・大原ゴミ減量会議
高田サポーター	大原草紙、里づくり会
安倍サポーター	大原草紙

(3) 業務報告

- ① 会員の増減状況は入会1名、退会2名、今期末現在員総数は88名。
- ② 理事会の開催は基本的には不定期に通算7回開催。なお、安田理事から辞任の申し出があった。
- ③ 今期理事会は会の存、廃について協議を重ね1月理事会で存続を決定した。
- ④ コロナ禍で各種活動は中止、規模縮小で実施せざるを得なかった。
10月10日（日）勝林院堂で惟喬親王1125年法要、藤井勝林院輪番住職の奉修。
- ⑤ コミュニティ堆肥化事業の終了について
平成22年度から取り組んできた生ごみを有機堆肥化する事業であるが、京都市の財政事情から3月31日で終了することとなった。この間、約10余年にわたり取組みのリーダーを果たされた高倉有里さんに感謝とご慰労を申し上げます。
- ⑥ 広報紙「大原草紙」の発行
 - ・ 76号 夏季号 令和3年 7月発行
 - ・ 77号 秋季号 令和3年 10月発行
 - ・ 78号 新春号 令和4年 1月発行
 - ・ 79号 春季号 令和4年 4月発行

- (4) 役員名簿
- | | |
|------|-------|
| 理事長 | 西田 誠 |
| 副理事長 | 上田 壽一 |
| 常務理事 | 高倉 哲法 |
| 理事 | 榎並 博一 |
| 理事 | 久保 満 |
| 理事 | 多紀 顕忍 |
| 理事 | 藤井 宏全 |
| 理事 | 安田 真 |
| 監事 | 久保 勝 |
| 監事 | 中林 義夫 |

暫定理事会であり、任期は長くとも令和4年5月（第21回通常総会終了のとき）

【第2号議案】令和3年度 収支・監査報告

令和3年度 収支報告書

令和3年 4月1日～ 令和4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当初予算額	決算額	備考
I 経常収入の部			
1 会費収入	0	0	
正会員会費	0	0	
賛助会員会費	0	0	
2 補助金等収入	36,330	36,660	
補助金(歴史文化)	0	0	
補助金(環境保全)	36,330	36,660	ゴミ減(京都市より)
補助金(その他)	0	0	
3 その他収入	0	12,006	
雑収入	0	6	預金利息
寄付金	0	12,000	大原草紙別冊・香害特集
経常収入 合計	36,330	48,666	
II 経常支出の部			
1 事業費	287,000	168,442	
(1)歴史文化	0	0	実施なし
(2)景観・環境保全	37,000	36,000	ごみ減委託3.6万 ごみ減会費(例年1千)今年なし
(3)広報誌発行	150,000	132,442	76号～78号(3回)
(4)留学生奨学金	100,000	0	実施なし
2 管理費	220,500	197,415	
会 議 費	10,000	0	なし
通 信 運 搬 費	30,000	19,660	ハガキ7千、郵便1.2万
広 告 宣 伝 費	5,500	5,588	ホームページ、サーバー
事 務 用 品 費	10,000	9,944	コピー用紙、インク、宛名 シールなど
消 耗 品 費	0	0	なし
修 繕 費	0	0	なし
保 険 料	0	0	なし
賃 借 料	0	0	なし
雑 費	55,000	52,223	梅の宮 整備 5万 証明書、振込手数料など2千
外 注 費	110,000	110,000	事務委託費
経常支出 合計	507,500	365,857	
経常収支差額	△ 471,170	△ 317,191	
予備費	0	0	
当期収支差額	△ 471,170	△ 317,191	
前期繰越正味財産額	2,266,626	2,266,626	
次期繰越正味財産額	1,795,456	1,949,435	

貸借対照表

令和4年 3月31日現在

特定非営利活動法人 京都大原里づくり協会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,949,435	
未収金	0	
前払金	0	
流動資産合計		1,949,435
2 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計		1,949,435
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
流動負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	2,266,626	
当期正味財産増減額	△ 317,191	
正味財産合計		1,949,435
負債及び正味財産合計		1,949,435

財産目録

令和4年 3月31日現在

特定非営利活動法人 京都大原里づくり協会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部		(内訳)	
1 流動資産			
現金預金	1,949,435		
普通預金		630,516	
振替口座		1,318,919	
JA大原支店			
ゆうちょ銀行			
未収金	0		
補助金		0	
立て替え払い		0	
前払金	0		
流動資産合計			1,949,435
2 固定資産			
固定資産合計			0
資産合計			1,949,435
II 負債の部			
1 流動負債	0		
未払金		0	
流動負債合計			0
負債合計			0
正味財産			1,949,435

令和3年度 監査報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

NPO法人

京都大原里づくり協会

理事長 西 田 誠

副理事長 上 田 寿 一

常務理事 高 倉 哲 法

理 事 榎 並 博 一

理 事 久 保 満

理 事 多 紀 颯 忍

理 事 藤 井 宏 全

会計書類を監査した結果、正確かつ適法であることを確認します。

令和4年 5月 19日

監 事 中林 義夫

監 事 久保 勝

【第3号議案】 令和4年度 事業計画(案)

【はじめに】

第19回総会以降、コロナ禍で活動を抑制的にならざるを得ない状況下で、当協会の存続が最重要テーマという寂しい現実がありました。9月6日開催された第3回理事会で12月まで各種取組を行い存続、解散の判断を行う事とした。1月17日の第5回理事会で次期理事会を構成するめどが立ったので存続することを決定し、引続き運営の内容等で関係者と協議する事としました。

5月9日 第7回理事会 第21回総会議案の策定

5月29日(日) 第21回定期総会 総会議案の審議(新理事会人事を含む)

1 活動にあたっての基本的な考え方

- ① 新型コロナウイルスの終息が見えないまま3年目を迎えます。その時々状況によって感染拡大予防のため実施、延期、中止を判断します。
- ② 各種取組は大原自治連合会や各種団体と連携して進めます。
- ③ 個々人の多様性を尊重し認め合います。
- ④ 会の運営にあたり、民主的で透明感がある運営を心掛けます。
- ⑤ 財政基盤の安定を図るため、NPOの特徴を生かし研究、模索します。
- ⑥ 新理事会は将来を見つめ、運営、業務分担は第1回理事会で策定します。

2 再出発を意欲をもってすすめます。

(1) 大原をつなげる connect

- 大原住民同士をつなげる
- 大原の移住民と元々暮らしていた人をつなげる
- 大原の内と外をつなげる
- 大原の伝統文化を次の世代につなげる
- 大原の里の景色を未来につなげる

(2) NPO法人大原里づくり協会組織概略(例示)

- ◎ 理事・委員——自然 {オオムラサキ保護活動、水生生物調査}
景観 {環境美化、大原の原風景を守る}
- ◎ 理事・委員——歴史 {大原の物語、暮らし、人物等の歴史}
文化 {まつり、食、[しば漬]}
- ◎ 理事・委員——子育て {多世代の交流、子どもの居場所づくり}
暮らし {空き家対策、移住者促進活動}
- ◎ 理事・委員——他団体との連携・調整 (JA会館の跡施設利用等)
- ◎ 理事・委員——各分野の活動を見える化する、大原のメディア「大原草紙」

(3) 具体的な活動の骨子

- ① 従来からの活動を関係団体等と協議しつつ、継続します。
大原提言、里づくり会、環境保全、水生生物調査、大原海外留学生基金、大原草紙、登山ポスト、登山道整備、勝林院関連事業、カントリーウォーク
- ② 空き家対策
- ③ 新規住民への支援
- ④ オオムラサキ、アサギマダラの保護活動
- ⑤ 天ぷら油回収事業は日常生活に直結した環境問題です。現在の取組みを再整理して進めます。
- ⑥ 大原草紙に有料広告スペースを設け収入確保をめざします。
- ⑦ 高齢者(運転免許証返納後等)の居場所づくりを試みます。
- ⑧ 大原の地域性を生かした「声明を唄う会」を魚山一山寺院の協力を得ながら取り組みます。

(4) 今年度検討事項

※インパクトの明確化。里協が目指す将来像、 VISION

→積み上げ式でなく、頭に大きな「絵」であるインパクトを掲げる。

それを達成するためのアクションプランとアウトカム（達成度）を設定する。

※里づくり協会組織 理事、顧問、監事、等々の整理

※会員の種別、年会費の条件等の整理

(5) 次年度以降

ウェブサイトの刷新

対外的にも、里づくり協会の取組みやインパクトを発信していく。

3 財政の確立について

① 会費は2年間休止してきましたが、引き続き今期も会費を集めずに経費の節減に努めます。

② コロナ禍のなか地域経済の状況等から、NPO の特徴を生かした活動財源作りを検討いたします。

令和4年度 収支予算書

令和4年 4月1日～ 令和5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	前期実績	予算額	備考
I 経常収入の部			
会費収入	0	0	過去は約100人で 44万の実績
正会員会費	0		(約40万)
賛助会員会費	0		(約4万)
補助金等収入	36,660	18,500	
補助金 (歴史文化)	0	0	
補助金 (環境保全)	36,660	18,500	ゴミ減今期から無し てんぷら油回収1.8万
その他収入	12,006	0	
雑収入	6	0	預金利息 等
寄付金	12,000	0	
経常収入 合計	48,666	18,500	
II 経常支出の部			
事業費	168,442	250,000	
(1) 歴史文化	0	0	
(2) 景観・環境保全	36,000	0	ごみ減なし
(3) 広報誌発行	132,442	150,000	4回分
(4) 留学生奨学金	0	100,000	検討中
管理費	197,415	160,600	
会議費	0	0	史跡調査 お茶代など
通信運搬費	19,660	30,000	はがき7千、郵便2.3 万
広告宣伝費	5,588	5,600	ホームページサーバー
事務用品費	9,944	10,000	印刷用紙、インク、 タックシールなど
消耗品費	0	0	
修繕費	0	0	
保険料	0	0	
賃借料	0	0	
雑費 (※1)	52,223	5,000	租税効果・手数料など
外注費	110,000	110,000	事務委託費
経常支出 合計	365,857	410,600	
経常収支差額	△ 317,191	△ 392,100	
予備費	0	0	
当期収支差額	△ 317,191	△ 392,100	
前期繰越正味財産額	2,266,626	1,949,435	
次期繰越正味財産額	1,949,435	1,557,335	

※1 前期は梅宮神社の整備で5万円の支出あり

【第5号議案】 役員改選

2年間の任期満了に伴い、新たに役員を選任します。令和4年度～5年度の役員として、次の方々から立候補をいただいています。承認をお願い致します。

理事長	西田 誠
副理事長	上田 壽一
常務理事	高倉 哲法
理事	佐々木 春美
理事	是恒 千鶴子
理事	西山 安佳里
理事	渡辺 民
監事	山本 克也
監事	安倍 百合子

顧問 土井 孝雄

顧問 和田野 光彦

顧問 榎並 博一

任期:令和6年5月末日

以上